

08年度の各種募金を配分、贈呈

■海外難民救援に378万円を贈る■

毎日新聞社会事業団が、毎日新聞紙面と連動させ1979年から「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」としてスタートした海外救援事業は30年目を迎えた。

08年度は6月、記者とカメラマンを派遣して混乱が続くスーダンの子供たちの現状をルポした「家路を探して」▽11～12月には海外救援事業30周年企画として、大阪本社が30年前に紙面で取り上げたバングラデシュの少年のその後と、少年が育ったマナム母子寮を報告した「貧困を越えて」▽3月にはイスラエルの空爆を受けたパレスチナ自治区ガザ地区の子供たちを取り上げた「がれきの街の子どもたち」をそれぞれ紙面で連載し、大きな反響を呼んだ。

こうしたこともあって、西部事業団には452件(前年度252件)、378万円(同130万2428円)の海外救援金が寄せられ、募金額、件数ともに前年度を大幅に上回った。

東京、大阪両事業団と合わせた募金は総額2428万円にのぼり、日本ユニセフ協会や国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)などの国際機関や「国境なき医師団」「ペンチャール会」などのNGOなど27団体に届けた。これにより、キャンペーン当初からの救援金の総額は15億1753万8344円となった。

■ミャンマーサイクロン、四川大地震のほか 岩手・宮城内陸地震でも被災者救援■

08年6月14日に発生したマグニチュード7.2の岩手・宮城内陸地震では、13人が死亡、10人が行方不明となり、500人近い人々が負傷する被害を受けた。紙面で被災者救援の募金を呼びかけた訳ではなかったが、地震発生以降、西部事業団には32件、87万7067円の救援金が寄せられ、これを折半して日本赤十字社の岩手・宮城両県支部に贈った。

一方、海外ではミャンマー中・南部が5月2日、大型サイクロン「ナルギス」の直撃を受け190万人の住民が被災、死者・行方不明者が13万人にのぼる同国史上、最悪の自然災害となった。さらに同月12日には、中国四川省でマグニチュード8.7の地震が発生、死者・行方不明者が8万6000人を超える大災害となった。新聞などで被災者救援の協力を呼びかけた結果、ミャンマーサイクロン救援には総額2332万5990円(うち西部管内151件、113万3188円)、四川大地震救援には同3427万890円(同249件、328万3956円)が寄せられ、ユニセフや国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)などを通じて救援金を被災地に届けた。



毎日新聞福岡本部であった「小児がん征圧募金」の贈呈式＝09年3月18日

1996年から展開している毎日新聞と毎日新聞社会事業団の「小児がん生きたる」募金は、小児がんや難病など闘う子どもたちを支援する組織や医療機関などから寄せられた。東京、大阪、西部の3事業団に集まった募金は、小児がんや難病など闘う子どもたちを支援する組織や医療機関などから寄せられた。

今年9月9日には福岡市のアクロスで「生きたる」のコンサート開催が決まった。期待が高まっている。

小児がん征圧募金

西部管内は7団体に贈る

「生きたる」のコンサート開催が決まった。期待が高まっている。西部事業団関係の配分額と配分額は以下の通り。NPOなども医療支援「わらびの会」20万円▽福岡大学病院親の会「みらい」20万円▽久留米大学病院親の会「木曜会」20万円▽ボランティアグループ「ばんぶきん」(旧名称「わたり」)15万円▽九州骨髄バンク推進連絡会議 15万円▽久留米大学病院小児がん経験者の会「スマイルデイズ」20万円▽福岡ファミリーハウス30万円

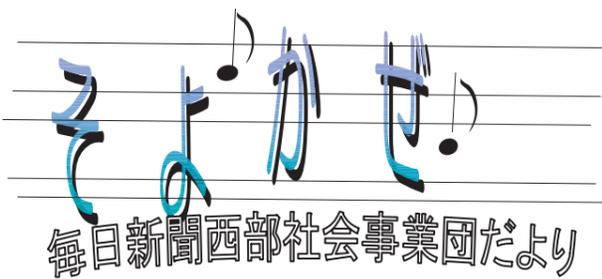
◆編集後記◆
3月末で前任の田上常務理事が退任し「そよかぜ」の発行人も木村に代わりました。現役時代に整理の経験がない悲しさ、初めてイラストレーターの仕事を使ったが、新聞編集の基本がなっていないと言われそう、ハラハラしています。今後、発行回数や重なることについて読みやすくなるよう頑張りますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。(峰)

福岡県大会優勝

当事業団が後援する「第42回山口県アイリニック大会(県大会)」が5月30日、防府市スポーツセンターで開かれ、県内の児童福祉施設や知的障害者援護施設から約250人が参加した。競技では、大玉転がしやムカデ競走、車いすパン食い競走などが多彩に繰り広げられた。参加した選手たちはゴールテープを切る、介助した職員とさわやかな笑顔を交わっていた。



大玉転がしで盛り上がる選手たち
09年5月30日



毎日新聞西部社会事業団だより

第74号 2009年6月8日

発行所 〒802-8651
北九州市小倉北区紺屋町13-1
(財)毎日新聞西部社会事業団
木村 雄峰
電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009
E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp
郵便振替 01770-2-40213
URL http://www.mainichi.co.jp/seibu_shakaijigyo/

【児童福祉事業】入学・卒業の祝い品プレゼントをはじめ、施設や母子家庭の子どもたちのボウリング大会やクリスマス会、研修会へ例年通り助成するほか、「母の日・父の日募金」を財源に、児童養護施設退所後の子どもたちの自立援助に、宿泊施設を提供するボランティア団体に助成する。

【指定寄付事業】募金の使途が限定された事業で、海外難民救援金、小児がん征圧募金のほか、大規模災害が発生した場合に被災者救援金を募集し、日本赤十字社などを通じて配分する。

【医療福祉事業】前年度に引き続いて、小児がんなどで入院する子どもたちの付き添い家族に、宿泊施設を提供するボランティア団体に助成する。

【歳末事業】歳末助成金の募集「愛の義援金」、歳末チャリティ「全国寄贈画展・陶芸品即売展」を例年通り実施。チャリティー展は12月5、6日の北九州展を皮切りに山口(同12、13日)、福岡(同19、20日)の各展を順次、開催する。

【福社団体助成事業】福岡、北九州、佐賀、大分の「いのちの電話」やホームレス自立支援団体、交通遺児支援会、九州盲導犬協会、あしなが育英会など前年度並みの17団体を対象に助成する方針。

【障害者福祉事業】助成事業が中心で、障害者を対象にした交流センターや水泳、風船バレーボール、障害者ボウリング大会、車椅子テニスなどのスポーツ大会、盲学校弁論大会、豊学校などの各種文化行事など、毎年20件以上の催しが予想され、例年通り助成する。

【収入4837万寄附】08年度の事業報告と収支決算は6月4日の第2回理事会、評議員会で審議、いずれも原案通り可決・承認された。08年度は一般福祉事業が48件あり、うち6件の新規事業があった。

09年度の事業計画と予算案は3月25日の理事会・評議員会で審議され、いずれも原案通り可決・承認された。今年度事業は、次のようにほぼ前年度並みの約50件、総額約3200万円の事業を実施する。

【歳末事業】歳末助成金の募集「愛の義援金」、歳末チャリティ「全国寄贈画展・陶芸品即売展」を例年通り実施。チャリティー展は12月5、6日の北九州展を皮切りに山口(同12、13日)、福岡(同19、20日)の各展を順次、開催する。

【収入4837万寄附】08年度の事業報告と収支決算は6月4日の第2回理事会、評議員会で審議、いずれも原案通り可決・承認された。08年度は一般福祉事業が48件あり、うち6件の新規事業があった。

【収入4837万寄附】08年度の事業報告と収支決算は6月4日の第2回理事会、評議員会で審議、いずれも原案通り可決・承認された。08年度は一般福祉事業が48件あり、うち6件の新規事業があった。

【収入4837万寄附】08年度の事業報告と収支決算は6月4日の第2回理事会、評議員会で審議、いずれも原案通り可決・承認された。08年度は一般福祉事業が48件あり、うち6件の新規事業があった。

【収入4837万寄附】08年度の事業報告と収支決算は6月4日の第2回理事会、評議員会で審議、いずれも原案通り可決・承認された。08年度は一般福祉事業が48件あり、うち6件の新規事業があった。

【収入4837万寄附】08年度の事業報告と収支決算は6月4日の第2回理事会、評議員会で審議、いずれも原案通り可決・承認された。08年度は一般福祉事業が48件あり、うち6件の新規事業があった。

定例理事会・評議員会で承認

財団法人・毎日新聞西部社会事業団(理事長、田中青史・毎日新聞西部本社代表の09年の定例理事会と評議員会が3月と6月に開催され、2009年度事業計画とそれに伴う約3200万円規模の事業予算、08年度事業報告と決算が、それぞれ承認された。



フクニチ厚生事業団が残余財産を寄付

財団法人フクニチ厚生事業団(福岡市、石黒博道清算人)は5月25日、同事業団の解散と清算手続きが完了したとして、清算後の残余財産103万5722円を毎日新聞西部社会事業団に寄付した＝写真。

フクニチ厚生事業団は、フクニチ新聞社(1992年4月休刊)が出資し、1960年7月に設立された。巡回診療や災害時の被災者救護など各種の社会福祉事業を実施してきたが、ここ数年はこれといった活動実績がなく、公益法人制度改革への対応も困難として、1月末に開いた理事会で解散を決議していた。

毎日新聞福岡本部を訪れ、伊藤元信編集局長に残余財産の通帳を手渡した石黒清算人は「社会福祉のために使ってほしい」と話した。

清算書
I. 解散時の財産総額 1,315,612円
II. 解散及び清算諸費
1. 解散事務費(登記・告示等) 119,890円
2. 借入金の返済 0円
3. 未払金の清算 160,000円
4. その他の債務弁済 0円
合計 279,890円
III. 差引残余財産の額 1,035,722円
IV. 残余財産は全額これを財団法人毎日新聞西部社会事業団に寄付した。



	08年度決算	前年度決算	前年度比
I 収入の部			
基本財産利息収入	160,327	86,109	74,218
特定資産配当金収入	6,575,937	7,571,351	▲995,414
寄付金収入	48,374,288	57,584,679	▲9,210,391
指定寄付金	11,571,083	11,551,444	19,639
一般寄付金	10,091,815	17,816,880	▲7,725,065
雑収入	3,005,959	3,355,901	▲349,942
収入合計	58,116,511	68,598,040	▲10,481,529
II 支出の部			
事業費支出	40,017,099	43,196,708	▲3,179,609
指定寄付事業費	10,251,525	11,881,961	▲1,630,436
児童福祉費	5,132,200	4,672,560	459,640
障害者福祉費	2,862,130	2,445,532	416,598
医療福祉費	300,000	300,000	0
福祉団体助成費	4,875,270	6,040,105	▲1,164,835
啓発事業費	197,510	217,582	19,510
歳末事業費	14,502,802	14,275,842	226,960
毎日福祉顕彰費	1,595,162	1,409,126	186,036
管理費支出	14,980,835	13,188,450	1,792,385
退職給付引当金	1,000,000	10,000,000	▲9,000,000
支出合計	55,697,434	64,213,576	▲8,516,142
III 投資活動運用収入	1,421,180	1,799,706	▲378,526
当期収支差額	3,209,543	4,012,588	▲803,045
前期繰越収支差額	46,785,229	54,515,112	▲7,729,883
次期繰越収支差額	49,994,772	58,527,700	▲8,532,928

数万円、福祉団体助成費488万円など事業費支出が4001万余円、管理費支出は1498万円、99万余円は09年度に繰り越した。